

「ロボット汎用プラットフォーム」 “Simple” ハードウェア

ぬいぐるみがそのまま会話ロボットに！



参考出品・特許出願中

「ロボット汎用プラットフォーム」のハードウェアである“Simple”は、最小限の開発作業にてコミュニケーションロボットの実現が可能です。独自の放熱機能により、専用筐体をぬいぐるみ内にそのまま挿入することで、コミュニケーションロボットとして機能させることが可能です。

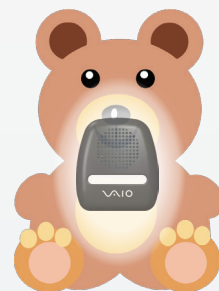
Simple ハードウェアの特長

① ぬいぐるみにそのまま使えます！※1

“Simple”の専用筐体をぬいぐるみにそのまま挿入します。
「おはなしするぬいぐるみ」が完成です！

② カスタマイズが最小限に！

“Simple”のハードウェアはそのまま利用することができますので、ハードウェアの新規開発、カスタマイズは原則不要です。ロボットの発話に関するソフトウェアの開発やカスタマイズのみ必要になります。



ぬいぐるみ内の
“Simple”のイメージ

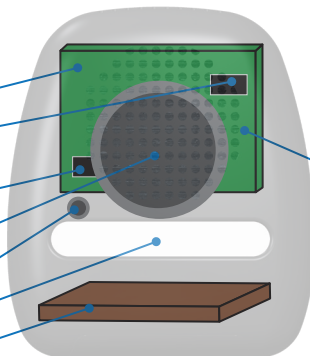
Simple ハードウェアの概要

① コミュニケーションロボットに必要な全機能が搭載

コミュニケーションロボットに必要な以下の機能が全て“Simple”内に搭載されています。

ハードウェア概要

- CPU ボード
- 無線機能 (WiFi, Bluetooth)
- DSP
- スピーカ
- マイク
- セパレートスペース
- バッテリー



● 搭載ソフトウェア

OS(Linux)	音声合成エンジン	各センサー制御機能
音声認識機能 I/F	対話エンジン	バッテリー制御機能

ソフトウェアもそのままご使用頂けます。「音声合成エンジン」及び「対話エンジン」(水色部分)のみ、ロボットのキャラクタに合わせて開発、カスタマイズが必要です。

② ファンレスでありながら効率的な放熱性能

ぬいぐるみのような密閉環境でも利用可能になるファンレスでの独自の放熱機能を実現しています※2。

※1 他の筐体等に使用することも可能です。※2 放熱状態によってはぬいぐるみの構造を一部変更が必要になる場合があります。